

通信方式Ⅱ (Communication SystemsⅡ) 達成度評価リスト

2018年度(平成30年度)

到達目標	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1	備考
1. PCMにおける標本化定理と量子化ビット数の役割を理解し、符号化したり、伝送速度などを計算できる。	与えられた問題に対し、PCMによる符号化、伝送速度の計算を正しく実行できる。	与えられた問題に対し、PCMによる符号化、伝送速度の計算法を理解している。	与えられた問題に対し、標本化定理や量子化を適用できる。	標本化定理と量子化ビット数という用語を知っている。	
2. 代表的な基底帯域変調方式および無線帯域変調標識を理解し、デジタル信号の変調、復調を実行できる。	与えられた問題に対し、デジタル信号の変調、復調を正しく実行できる。	与えられた問題に対し、デジタル信号の変調、復調の方法を理解している。	与えられた問題に対し、どのデジタル変調方式を適用すれば良いか知っている。	デジタル変調方式の種類を知っている。	
3. ビット誤り率およびデシベル表示の役割を理解し、計算できる。	ビット誤り率およびデシベル表示の役割を理解し、必要なグラフを図示できる。	ビット誤り率およびデシベル表示の役割を理解し、正しく計算できる。	ビット誤り率の計算法、デシベル表示の計算法を知っている。	ビット誤り率、デシベルという用語を知っている。	
4. 多重化の基本概念を理解し、デジタル信号の多重化、多重化分離を実行できる。	与えられた問題に対し、デジタル信号の多重化、多重化分離を正しく実行できる。	与えられた問題に対し、デジタル信号の多重化、多重化分離の方法を理解している。	与えられた問題に対し、どの多重化方式を適用すれば良いか知っている。	多重化方式の種類を知っている。	
5. 携帯電話システムを実現するための位置登録とハンドオーバーを説明できる。また、携帯電話システム、無線LAN等で実用化されているランダムアクセスについて説明できる。	携帯電話システムにおける位置登録とハンドオーバーの必要性、無線LAN等におけるランダムアクセスの必要性を理解し、正しく説明できる。	携帯電話システムにおける位置登録、ハンドオーバーの必要性、無線LAN等におけるランダムアクセスの必要性を理解している。	位置登録、ハンドオーバー、ランダムアクセスが何かを説明できる。	位置登録、ハンドオーバー、ランダムアクセスという用語を知っている。	

※各到達目標に対して、原則、レベル2以上を合格とします。